

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	当院で外科的治療介入を行った直腸神経内分泌腫瘍 21 例の後ろ向き観察研究
研究責任者 (所属科名)	下村 学 (外科)
本研究の目的・意義	消化管に発生する神経内分泌腫瘍 (neuroendocrine neoplasms : NEN) は比較的まれな腫瘍であり、大腸癌治療に比べてデータが少なく、内視鏡治療後の追加切除適応、リンパ節転移リスクなどについては、議論の余地があると考えられます。特に日本人に好発する下部直腸では、肛門温存、自律神経機能温存の観点から、その手術治療方針が重要となるため、当院で過去 10 年間に外科治療介入した直腸 NET 症例の臨床病理学的特徴を検討し、その長期成績、リンパ節転移リスクについて検討を行いました。
調査方法・調査期間	2010年1月から2020年4月までに当院で外科治療介入した神経内分泌癌を除いた直腸原発 NEN 21 例を対象とします。調査期間は2020年4月から約2.3年間
該当資料・データ	★対象となる患者様 2010年1月～2020年4月までに安佐市民病院外科にて外科的治療介入を行った直腸神経内分泌腫瘍の方。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、画像 (内視鏡、CT 等)、検査データ (病理学的検査所見等) を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話 082-815-5211(代) 外科 医員 新原健介
備考	